

令和4年度の各種大会・レクリエーションから令和5年度へ…

競技部

- ① 新型コロナ感染予防対策（入館者の制限、手指等の消毒やマスク着用の徹底、応援方法、2日間開催等）を講じながら、計画していた全ての大会を開催することができた。
各団の御理解のおかげで、全体的には運営を円滑に行うことができた。
→ 「鹿児島市地区大会における競技運営上の新型コロナウイルス感染症の予防対策について（改定案）」に基づき大会を実施。
- ② 選手による記録のつけ方やラインジャッジや審判をされる方々のさらなる技術の向上が必要である。
→ 市連絡協議会主催の審判勉強会等を計画する。各地区や各団でも練習の機会を設けるように心がける。また、各大会等で、場合によっては審判部役員を中心に助言していく。
市伝達講習会 : 4月22日（土） 鹿児島市民体育館（各団1名必ず参加）
審判勉強会Ⅰ : 9月30日（土） 吉田文化体育センター（希望者）
審判勉強会Ⅱ : 3月20日（水） 鹿児島市民体育館（希望者）
県公認審判資格審査会 : 未定（調整中、人数限定予定）
- ③ 市連絡協議会のチーム全体でレベルアップに繋がるような機会として、バレーボール教室等を実施した。（10/9 フラゴラッドによるバレー教室、2/19 合同練習会）
→ 5年度も合同練習会を開催する。（内容については今後検討する。）
合同練習会Ⅰ : 8月26日（土） 鹿児島市民体育館
合同練習会Ⅱ : 12月16日（土） 鹿児島市民体育館
- ④ 体育館使用のマナーについて、各体育館側から注意や指導を受けないように徹底する。
・ロビーで騒がない ・スタンド最前列で、乳児を抱っこしての応援をしない
・玄関前までの無断乗り入れをしない ・弁当がらの未回収がないように徹底する。
→ 一人一人が振り返り、市全体として改善していきましょう。
- ⑤ コートの設営の仕方の共通理解が必要である。（ベンチの数を6脚に減らし、間隔を空けて並べる）
→ 市伝達講習会で確認予定。
- ⑥ 市連絡協議会主催の大会の試合球は、原則、ミカサとモルテンを交互に使用する。
（県大会に繋がる予選は県に準ずる。試合球の提供を受ける場合はそのボールを使用）

⑦ 4年度の市連絡協議会主催の大会は、新型コロナ対策と団員の体調面を考慮し、原則、予選・決勝トーナメントを半日ずつの開催とした。

→ 5年度については、団員の体調面の考慮と併せて、指導者や育成会が参加しやすい日程の配慮及び体育館確保の状況を踏まえ、熱中症のリスクが高い時期に開催する夏季大会・秋季大会は、予選・決勝トーナメントの2日間開催とし、1日の試合数を軽減することとする。

⑧ 昨年度の新人大会の結果を参考に、今年度の春季大会のパート分けをする。

【混合Aパート：12チーム】

草牟田，よしの東，桜丘西，田上，西田，宮川，大龍，名山，原良，松元，玉江，武岡
(決勝トーナメント上位12チーム)

【混合Bパート：11チーム+α】

南方，吉野，和田，中郡，紫原，宇宿，喜入，荒田，東谷山，桜洲，石谷 + α
(決勝トーナメント下位4チーム+予選敗退チーム+新人大会不参加+新規)

※ 女子パート・男子パートは、現段階では、1パートで開催する予定。

⑨ 対象大会（春季大会，夏季大会，秋季大会）において、原則Aパート下位4チームとBパートの上位4チーム入れ替える。（ただし、参加チーム数によっては、入替チーム数が変更になる場合もあり）新規参加の場合は、Bパートスタートとする。

また、対象大会に出場できなかった場合、自動的に入れ替え対象チームとなる。

※ A・B2パートに分ける場合、Aパートは、原則12～15チームで開催する。したがって、棄権等で11チーム以下になった場合は、Bパートから成績を参考にAパートへ移動していただく場合もありえる。

⑩ 市連絡協議会主催の大会のシードは前回大会の成績を優先する。その他シードについては、以下のとおりとする。

- ・全日本小学生大会県大会支部予選・・・県新人大会の成績を優先し、次に春季大会の成績
- ・県男女優勝大会（安藤旗）支部予選・・・全日本小学生大会県大会支部予選の成績
- ・市スポーツ少年団交歓大会・・・秋季大会の成績

昨年度も、あらゆる面で御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。

今年度も、主役である子ども達のために御協力をよろしくお願い致します。